

令和6年度「#あおばな in 大湊小学校」開催概要

県内の小学生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年9月11日（水）14：00～15：15

○場所：むつ市立大湊小学校 体育館

○参加児童：3～6学年 58名

<児童との意見交換>

代表児童からの意見について知事と対話をしました。

- ①鉄道維持のための対策
- ②スギ花粉症への対策
- ③原子力関連施設と安全性の確保について
- ④少子化対策について

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から児童へのコメントの一部を紹介します。

- ・小学生は、自分の両親や親戚、先生や地域の方々との関わりの中で、すごく成長できる。
- ・目標があって対話が進んでいくと、必ずそのゴールに近づく。これは大事なこと。学校の勉強は答えがあるものばかりかもしれないが、世の中は答えがないことばかりで、正解がない。でも、対話を積み重ねていった先にあるゴールをみんなで共有すれば、必ず課題は解決できる。
- ・これからの将来、悩むことやうまくいかないことがたくさんあると思う。その時こそ今日のことを思い出してほしい。少しでも良くするためには、いろんな人と対話しなければいけない。この気持ちで、これからの学校生活や将来に向かって頑張っていってほしい。

